

# ツクシヒトツバテンナンショウ

*Arisaema tashiroi*

サトイモ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし

種  
子  
植  
物



山地の林内や林縁に生える草丈60cmほどの多年草。小葉が鳥足状になった葉は、名とは違って普通大小2個がつく。5月に白地に明るい緑の縦模様の入った長さ10cm内外の花をつける。筒部の長さに比べ<sup>ぶつえんほう</sup>仏炎苞と呼ばれる<sup>けんぶ</sup>舷部は短い。分布は県内のごく一部に限られる九州の特産種。生育地では個体数も極めて少なく、スズダケの密生による環境の変化や人による踏みつけなどで、絶滅の危険性が高い。

(写真・文：阿孫久見)

県内分布 祖母・傾山地

分布域 九州（大分・宮崎・鹿児島）